



聖教電子版



発行所 聖教新聞社
〒160-8070 東京都新宿区袋町7 TEL.03-3353-6111

聖教新聞

SEIKYO SHIMBUN

排外主義が高まる世界 協調を生む力は宗教に



中東・イスラム地域研究、比較政治史の第一人者である山内昌之・東京大学名誉教授は、大局的な歴史の視点から、時代の課題を読み解いてきました。排外主義やポピュリズム（大衆迎合主義）が高まる現代社会を、どのように見つめているのか――。山内名誉教授に聞きました。（聞き手＝萩本秀樹、村上進）

東京大学名誉教授 歴史家

インタビュー

山内 昌之 氏

はい、が、ちから
六つの宗教・哲学とは、イスラム教、キリスト教、仏教のほか、ヒンドゥー教、儒教、そしてギリシャのヒューマニズム哲学です。一方、六つの文明とは、順不同で、メソポタミア、エジプト、インダス川流域、中国黄河流域、メソアメリカ（マヤやアステカな

私の狭い意味での専門は中東・イスラム地域研究ですが、イスラム教をはじめとする世界宗教の普遍的な性格は、キリスト教や仏教にも共通するものです。およそ紀元前600年から紀元700年までの間に、世界史を通じて大きな力を発揮した六つの世界宗教・世界哲学が出現しており、しかもその全てが、六つの初期文明発祥地の中から生まれています。

「転載器」の役割
――中東・イスラム地域は、現代世界の動乱の象徴する地域の一つです。これまで宗教は、歴史の転換点ともいえる時代にどのような力を持っていたのでしょうか。

六つの宗教・哲学とは、イスラム教、キリスト教、仏教のほか、ヒンドゥー教、儒教、そしてギリシャのヒューマニズム哲学です。一方、六つの文明とは、順不同で、メソポタミア、エジプト、インダス川流域、中国黄河流域、メソアメリカ（マヤやアステカな

危機の時代を生きる
希望の哲学

ど中米地域）、アンデスを指します。ただし、前者の六つと後者の六つは必ずしも対応しておらず、例えばメソアメリカやアンデスは文明圏であつた一方で、そこで信仰された宗教形態が世界宗教として残ったわけではありませぬ。

六つの宗教・哲学とは、イスラム教、キリスト教、仏教のほか、ヒンドゥー教、儒教、そしてギリシャのヒューマニズム哲学です。一方、六つの文明とは、順不同で、メソポタミア、エジプト、インダス川流域、中国黄河流域、メソアメリカ（マヤやアステカな

希望の哲学
「転載器」の役割

が、苦難からの「救済」を掲げる宗教であつたと考えられるのです。つまり、誰しもが避けられない悩みや苦しみを、人々を救う「救済宗教」としての性格を帯びつつ、イスラム教もキリスト教も仏教も発展していきました。

六つの宗教・哲学とは、イスラム教、キリスト教、仏教のほか、ヒンドゥー教、儒教、そしてギリシャのヒューマニズム哲学です。一方、六つの文明とは、順不同で、メソポタミア、エジプト、インダス川流域、中国黄河流域、メソアメリカ（マヤやアステカな

希望の哲学
「転載器」の役割

という言い方がよりふさわしいと考えます。先に挙げた六つの世界宗教・世界哲学は、それまでの世界史が生み出してきた「力の組織」やイデオロギーよりも、はるかに広大かつ持続的に、世界を覆ってきた信仰・信条の体系です。

2面に続く